

2021年10月18日

これまでに心房粗動に対するカテーテルアブレーションを 受けられた患者様へ

当院では、心房粗動に対するカテーテルアブレーションにかかわる臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになり自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡をください。

【対象となる方】

2020年12月から2021年9月までに Rhythmia mapping システムおよび contact force と local impedance が同時測定できるアブレーションカテーテルを使用し心房粗動に対する三尖弁下大静脈間峡部線状焼灼を受けられた患者様。

【研究課題名】

三尖弁下大静脈間峡部線状焼灼における contact force と local impedance に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】

佐々木 健人 群馬県立心臓血管センター循環器内科 部長

【研究の目的】

三尖弁下大静脈間峡部線状焼灼における contact force と local impedance を用いたアブレーションの特徴および有効性・安全性を検討することです。

【利用するカルテ情報、資料】

年齢、性別、身長、体重、術前に施行された各種検査結果(採血・心電図・心臓超音波検査結果など)、カテーテルアブレーション中の術中データ、術後に

施行された各種検査結果(採血・心電図・心臓超音波検査など)を使用いたします。

【研究期間】

2020年12月から2021年9月まで

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータは、お名前、住所などの個人を特定できる情報については削除し、新たにつけた番号に基づき使用します。研究の結果を学会や学術雑誌に公表する際は、個人が特定できない形で使用いたします。

【問い合わせ先】

群馬県立心臓血管センター循環器内科